岩盤ボーリング柱状図

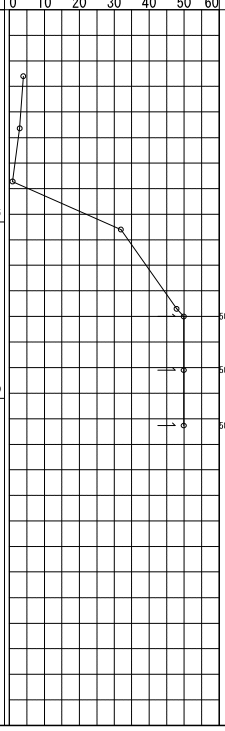
調　　査　　名	一般県道　弁財天加計線　道路改良事業に伴う地質調査・設計業務委託
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	道路　その他

ボーリング名	No.1	調査位置	安芸太田町土居	北　緯	34° 34′ 26.7110″
発注機関	広島県西部建設事務所　安芸太田支所	調査期間	令和元年10月15日～ 令和元年10月17日	東　経	132° 14′ 25.3912″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	265.42m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1-B48型	
総削孔長	9.00m		エンジン	ヤンマーディゼルNFD-12	ポンプ　東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%] (0 20 40 60 80)	記事	孔内水位／測定月日
1	263.62	1.80	SF	砂質土	暗灰～暗灰褐								GL-1.80mまでは、砂質土。 GL-0.00～1.50mまでは、細砂～中砂を主体とし、GL-1.50m以深は粗砂を主体とする。 植物根を含む。	
2			SF-M	シルト混り砂質土	暗灰褐～灰褐								GL-3.90mまでは、シルト混じり砂質土。 最大φ=50mm程度の礫を含む。 GL-2.70～3.00mでは、局所的にシルト分が少量な箇所を含む。	
3	261.52	3.90												
4	260.92	4.50	GS-M	シルト混り砂礫	灰褐								最大でφ=50mm程度の亜円礫～角礫を含む。砂は細砂～粗砂を主体とする。	10/16 4.15
5	260.12	5.30	GS-B	玉石混り砂礫	青灰～淡灰褐								GL-9.00mまでは、玉石混じり砂礫及び砂礫。 最大で、φ=450mmの玉石を含む。玉石は新鮮な岩で硬質である。 最大で、φ=60mmの礫を含む。礫は角礫や、円礫を多く含む。 マトリックス部分は粗砂を主体とする。	
6	259.32	6.10	GS	砂礫	青灰～灰褐									
	258.82	6.60	GS-B	玉石混り砂礫										
7	258.12	7.30	GS	砂礫										10/17 7.60
8			GS-B	玉石混り砂礫										
9	256.42	9.00												
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

深度－N値図 (0 10 20 30 40 50 60)



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	原位置試験	室内試験
4	1.15 / 1.45	4 / 300				1.15 物理的 1.45
3	2.15 / 2.49	3 / 340				
1	3.15 / 3.57	1 / 420				3.15 物理的 3.57
32	4.15 / 4.45	32 / 300				4.15 物理的 4.45
48 50以上	5.70 / 6.00	48 / 300	30入 不能			
50以上	7.00 / 7.10	50 / 100	100			
50以上	8.00 / 8.27	50 / 270	270			

削孔状況

削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
10/15	1200	120	S/打込み	0	0	0	W1/0	0
			S/打込み					
	90	86	HW/DB	0	150	0	W3/6	0
	120			1	200	0	W3/6	4
10/16						0	W3/6	2
10/17	90	66	HW/DB	0	200	0	W3/6	0